

青々とした緑が深い原生林を包む
 広いふところに抱かれるように
 たくさんの生き物が共生している命の源

氷ノ山

山々に降る雨は木々の葉を濡らし
 大地へとゆっくりしみ込んでいく
 水は幾重にもろ過され山里へわき出る
 すべての命は大きな循環の中で生きている

ブナの原生林には大木がたくさんあり、下草も茂り、動物たちの素晴らしい住みかとなっている。



1490m付近の湿地に「古生沼高地湿原植物群落」があります。ヤチスゲ(日本の南限地)、モウセンゴケ、ミズゴケ、イワナシ、イヌツゲ、イヌノハナヒゲ、ヒカゲノカズラ、マイズルソウ、イギリソウ、バイケイソウ、エゾリンドウ(南限地)などが見られ、わが国の高山性湿原群落の南限地として貴重な地域です。

「古生沼高地湿原植物群落」から標高1400m付近まで、分布して群生する天然の杉(アシオス



氷ノ山 ● HYOUNOSEN

兵庫県の最高峰・氷ノ山(1510m)は、中国山地では大山(1712m)につぐ高い山です。兵庫県の屋根と呼ばれる氷ノ山は、但馬の関宮・大屋・美方町と播磨の波賀町、因幡の若桜町にまたがりそびえ立っています。氷ノ山から南に向けての兵庫・鳥取・岡山県は1000mを越す山々が連なる高山地帯で「氷ノ山・後山・那岐山国定公園」になっています。

氷ノ山は約200〜100万年前に噴出した火山岩(溶岩)からできており、その後の風化、浸食作用によって現在の形になったと考えられています。

氷ノ山の特徴は、標高が1500m余りなのに、山頂付近の湿地や岩場には氷河時代の植物が現在も生き残っており、残存植物と呼ばれ、特に貴重な植物です。

例えば、氷ノ山山頂の東側、標高1490m付近の湿地に「古生沼高地湿原植物群落」があります。ヤチスゲ(日本の南限地)、モウセンゴケ、ミズゴケ、イワナシ、イヌツゲ、イヌノハナヒゲ、ヒカゲノカズラ、マイズルソウ、イギリソウ、バイケイソウ、エゾリンドウ(南限地)などが見られ、わが国の高山性湿原群落の南限地として貴重な地域です。

「古生沼高地湿原植物群落」から標高1400m付近まで、分布して群生する天然の杉(アシオス

出石グランドホテルが
 1999年7月に新しい名前で生まれ変わります。



出石グランド
 時を奏でるホテル

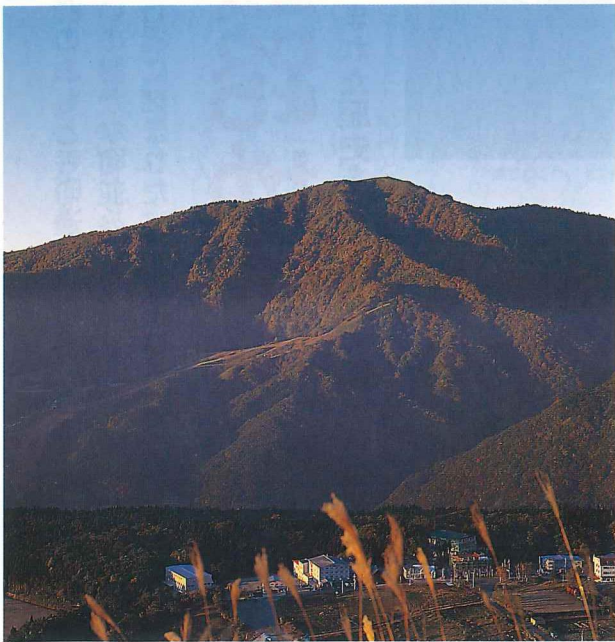
賑わいの時、寛ろぎの時。一人一人が時の演奏家になれる宿。

歴史という時を奏でつづけている古都「出石町」に、出石グランドホテルが「時を奏でるホテル」となって、リニューアルオープンします。訪れる人々のそれぞれの時を、真心のおもてなしで彩りたい。あなたも、あなたの時をどうぞ見つけにいらっしやいませんか。

出石グランド
 時を奏でるホテル

〒668-0263 兵庫県出石郡出石町福住450番地
 TEL0796-53-1111 FAX0796-52-6111

■ JRをご利用の場合 / 大塚駅から八鹿駅 約2時間30分 / 三ノ宮駅から八鹿駅 約2時間20分 / 姫路駅から八鹿駅 約1時間30分 / 京都駅から八鹿駅 約2時間30分
 ■ お車でお越しの場合 / 大阪(吹田JCT)から約2時間30分 / 神戸(神戸IC)から約2時間 / 姫路(姫路JCT)から約1時間20分 / 京都(京都駅)から約2時間30分
 ■ 飛行機をご利用の場合 / 大阪空港から但馬空港までフライト 約30分 / 但馬空港から出石グランドホテルまで車で約20分



神々が宿る山として、昔の人々は氷ノ山を仰ぎ見ていた。ブナの原生林は秋になると燃えるように色づき、明える新緑とは、また違った美しさを見せる。

ギ)があります。この下に生育している低木層、草木類など、どれもが湿地を好む特異な植物群落で「古千本・千本杉の湿原植物群落」と呼ばれています。どちらとも北方系の亜高山植物の宝庫で、県の特別天然記念物に指定されています。

このように、氷ノ山は県下随一の高地であるために、わが国の植物分布上のひとつのポイントになっています。中国山地植物の東限となるものに、キウシュウコゴメグサなどがあり、北方植物の南限となるものに、エゾリンドウ、シロスマシレなどがあります。その上、日本海側植物と太平洋側植物の混合もあり、暖流(対馬海流)

の影響によって、暖地性の植物が谷沿いにさかのぼっているということもあり、暖地植物から高地植物まで見られるという特色があります。

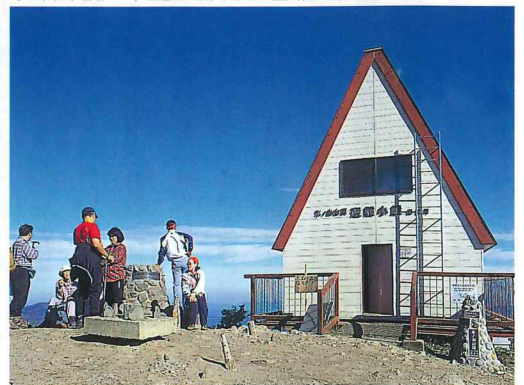
ですから、コケモモ、コメバツガザクラ、イワキンバイ、イワカガミ、ホツツジ、コオニユリなどが見られ、中部地方の日本アルプスのお花畑を歩いているような錯覚に陥ることさえあります。

いろいろな植物が育っている豊かな地域であれば、もちろんさまざまな生き物たちも氷ノ山で生きています。

氷ノ山は兵庫県下随一の高山性昆虫であるハヤシミドリシジミ、ヒメボタルなどがいます。また、ここを東限とするキイロクビナガキバナ、ここを西限とするモンキハバチ、古生沼のオンタケヒビケラなどがいます。つまり、植物と同じように分布の大切なポイントになっているのです。

氷ノ山といえば、イヌワシを抜きには語れません。国の天然記念物に指定されているイヌワシは、氷ノ山周辺に一番多く生息しているといわれていました。しかし、最近の観測では非常に少なくなっているといわれています。イヌワシはブナなどの落葉広葉樹林を生活の場としています。イヌワシと同じように、落葉広葉樹林を生活の場としている鳥類は、クマタ

氷ノ山の山頂。一年を通じてたくさんの登山者が訪れる。



カ、コノハズク、キバシリ、コガラ、アオカゲラ、フクロウなどがいます。

また、氷ノ山周辺には、ツキノワグマがいますが、こちらも数が減っており、いろいろな動物植物が絶滅の危機にあえいでいます。

氷ノ山の深い山々に生きる豊かな生命たち。氷河時代から生き延びてきた植物たちがひっそりと命を育む山。ブナの原生林は天からの水をたくさん保水し、我々の生活を守ってくれています。

全体のバランスがとれてこそ、氷ノ山であるといえるでしょう。新緑・紅葉ともに素晴らしい姿を見せてくれる氷ノ山。私たちはもつと氷ノ山を知らねばなりません。

資料：但馬の自然

博物館ガイドはちぶせ

ピーターパン子ども基金のご紹介

「ピーターパン」の作者ジェームズ・バリーは1929年、この作品から生じるすべての権利をロンドンの小児病院に寄付しました。基金はここに端を発し、後に英国とアメリカ、カナダで財団が作られました。日本では1993年、(財)日本児童家庭文化協会内に日本「ピーターパン子ども基金」が設立され、同協会がその運営にあたっています。



ほくしんは、『ピーターパン子ども基金』を応援しています。



あったかいね このカード

『ほくしんキャッシュカード』は全国どこでも無料でご利用いただけます。

●詳細は窓口でお気軽どうぞ



青い空、あおい海・人・ふれあい

北兵庫信用組合

本店/城崎郡香住町香住 支店/浜坂・村岡・豊岡・湯村・出石・日高・八鹿・和田山・香住駅前